

Ogikubo Festival Orchestra

The 20th Regular Concert

Conductor: Yuji Goto

Soprano: Sai Endo

Mezzo-soprano: Shoko Toya

Tenor: Joe Tsuchizaki

Baritone: Ryusuke Yamamoto

Ogikubo Festival Choir (Chorus Director:
Keiko Hirano)

Ludwig van Beethoven:

"Egmont" Overture, op. 84

Symphony No. 9 in D minor, op. 125

杉並
荻窪
で創る

荻窪祝祭管弦楽団

第20回定期演奏会

「L.V.ベートーヴェン」:

劇音楽「エグモント」op.84 序曲

交響曲第9番「短調」op.125「合唱付き」

指揮 後藤悠仁
ソプラノ 遠藤采
メゾソプラノ 鳥谷尚子
テノール 土崎謙
バリトン 山本竜介
荻窪祝祭合唱団(合唱指揮 平野桂子)

2026年

4月29日(水)

杉並公会堂 大ホール

お問い合わせ:

荻窪祝祭管弦楽団事務局

✉ ofofcontact@gmail.com

URL www.ofo.tokyo

TEL 050-3134-5747

開演14:30 開場13:40

チケット1,000円[全席指定]

※未就学児のお子さまの入場はご遠慮いただいております。

問い合わせの際のお願い

※メール送受信できる環境をお持ちの方はメールでのお問い合わせのご協力をお願いいたします。

※お電話をいただくと自動で機械音声によるガイダンス後、お問い合わせ内容の録音をご案内いたします。着信を確認いたしましたら、後日担当より折り返しご連絡をさせていただきますので、ご対応まで少々お待ちください。

※問い合わせ窓口への過度な催促、威圧的な言動が続く場合は、対応の一時休止や着信(受信)拒否を検討いたします。

4月1日(水)10:00

チケット販売開始

入場にはteketからのチケット購入が必要です。

詳細は下記の二次元バーコードより荻窪祝祭管弦楽団のホームページをご参照ください。



www.ofo.tokyo

主催: 荻窪祝祭管弦楽団

後援: 杉並区、杉並区教育委員会、「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会、杉並公会堂(株式会社京王設備サービス)

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団、公益社団法人荻窪法人会



当団は2015年11月の荻窪音楽祭出演を機に設立、「音楽を軸とした地域コミュニティ」をビジョンに掲げ、楽団に関わる全ての皆さまが楽しめるような「荻窪色」豊かな楽団を目指しています。

20回目の定期演奏会という節目を迎える今回は、いつか演奏できればと夢を温めていたベートーヴェン交響曲第9番を取り上げます。「杉並荻窪で創る」と銘打ち、合唱団も杉並区で公募・組成、地域で創り上げる「第九」としました。聴力を失った作曲家の作品とは思えないこの曲には、長い演奏時間と大編成の管弦楽、シラーの詩「歓喜に寄す」の導入による終楽章の独唱と混声合唱等、従来の交響曲の常識を打破する数々の創意が見られ、後世の作曲家に多大な影響を与えました。またベルリンの壁崩壊ほか各国のイベント等、祝賀あるいは追悼など様々な場面で演奏され、作曲家直筆の総譜はユネスコ世界記憶遺産指定、その他逸話には事欠かず、空前絶後の交響曲と言えます。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

荻窪祝祭管弦楽団 代表 小池弘真



©小谷野葉月

後藤悠仁

後藤 悠仁 指揮

Yuji Goto

北海道妹背牛町出身。東京藝術大学を経て、1986年同大学院を卒業。1985年6月、日本フィルハーモニー交響楽団に入団、2009年まで首席奏者を務める。1993年、京都・北海道にてリサイタルを開催、好評を得る。2001年オペラシティを皮切りに、トップンホールを経て、2004年より王子ホールにて毎年リサイタルを開催。2015年4月、日本フィルハーモニー交響楽団の常務理事に就任するとともに、ソロ活動を本格的に開始。ヴァイオリン奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演、イリス弦楽四重奏団での室内楽等、各地で幅広い演奏活動を行っている。また、指揮者・トレーナーとしてもアマチュアオーケストラの指導など、精力的に活動している。ヴァイオリンを中塚良昭、故ウルリッヒ・コッホ、室内楽を故黒沼俊夫、原田幸一郎、故グザルハルト・ボッセの各氏に師事、指揮を広上淳一氏に師事。現在、東京音楽大学指揮科特別アドバイザーも務める。荻窪祝祭管弦楽団音楽監督。



Sai Endo

遠藤 采 ソプラノ

Sai Endo

杉並区出身。東京都立芸術高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。モーツァルト《戴冠式ミサ》やヤクムヤンリバ《クリスマスミサ》のソリストを務め、「第8回Game Symphony Japan」では『ファイナルファンタジーVI』のマリア役として出演。2017年「艦これクラシックスタイルオーケストラツアー」ではソリストに抜擢され、東京フィルハーモニー交響楽団など数多くのオーケストラと共演。「艦これJAZZ」では村田陽一氏率いるJAZZバンドに参加し、オペラシティや日本武道館にてソロを務める。アニメ「はたらく細胞BLACK」「王様ランキング」「Re:ゼロから始める異世界生活」「進撃の巨人The Final Season完結編(後編)」、ゲーム「マギアレコード」「シアトリズム ファイナルバーライン」「モンスターストライク」、CM「PlayStation®5」「押すだけアースレッド」「ヤマダ電機 Roborock Qrevo」などの劇伴録音に参加。NHKスペシャル「戦国サムライの城」ではエンディングテーマを歌唱するなど、ジャンルにとらわれず幅広く活動している。



Shoko Toya

鳥谷 尚子 メゾソプラノ

Shoko Toya

島根県松江市出身。武蔵野音楽大学卒業、同大学院音楽研究科声楽専攻修了。第65回全日本学生音楽コンクール大学の部第1位および日本放送協会賞を受賞。卒業後は武蔵野音楽大学附属音楽教室講師として後進の指導にあたり、2015年に渡欧。ウィーン国立音楽大学大学院オペラ研究領域を満場一致の最優秀成績で首席修了した。オペラでは、シェーンブルン宮廷歌劇場《オレステ》フィロテーをはじめ、《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ、《カルメン》、《アルジェのイタリヤ女》イザベッラ、《ナクソス島のアリアドネ》作曲家など、幅広いレパートリーで舞台に立つ。宗教曲ではベートーヴェン《ミサ・ソレムニス》および《交響曲第9番》のソリストを務める。現在、島根県ふるさと親善大使、松江観光大使、武蔵野音楽大学附属高等学校講師。KAJIMOTO所属。



Tenor
土崎

土崎 譲 テノール

Joe Tsuchizaki

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程修了。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位、中田喜直賞。第76回日本音楽コンクール入選。文化庁派遣員としてウィーンに留学。第22回国民文化祭とくしまでは当時の皇太子殿下ご夫妻ご臨席の下で開会式に出演、NHKでも放送され好評を博す。東京フィル「こども音楽祭《魔笛》」でジョン・ミョンフンと、小澤征爾音楽塾IX「こうもり」で小澤征爾と共演。山田耕作「黒船」で新国立劇場にデビュー後、出演を重ねる。東京・春・音楽祭、チロル音楽祭ERL(嘆)など各地に招かれ、アルトアディジェ音楽祭(伊)で出演したオペラ「アルズィーラ」はヴェルディオペラDVD全集「Tutto Verdi」に収録された。2019年ウィーン・コンツェルトハウスにて日本・オーストリア友好150年記念コンサート「モーツァルト「レクイエム」」に出演し、ソリスト・合唱指揮の二刀流でも高評を得た。2024年新日本銀行券発行に合わせて制作された「北里柴三郎物語オペラ《ドンネルの夢》」で北里柴三郎役を務め、満場の喝采を浴びた。日本声楽アカデミー、日本演奏連盟会員。聖徳大学兼任講師。



Ryusuke Yamamoto

山本 竜介 バリトン

Ryusuke Yamamoto

兵庫県出身。昭和音楽大学音楽学部声楽科、同音楽専攻科修了。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。在学中イタリアにてフェラルモニココムナーレ劇場演奏会出演。これまで「ボッペアの戴冠」「秘密の結婚」「フィガロの結婚」「コジファントゥッテ」「愛の妙薬」「ランメルモールのルチア」「椿姫」「マクベス」「リゴレット」「イル・トロヴァトーレ」「仮面舞踏会」「アイダ」「西部の娘」「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」「トスカ」「道化師」等オペラを中心に出演。イタリア留学中ミラノ県の夏のフェスティバルCastello di Pomerioにて野外オペラ「愛の妙薬」ベルコーレ、同年「アイダ」アモナズロ等ミラノを中心にさまざまな演奏会に出演好評を博す。兵庫県新人演奏会、藤原歌劇団主催コンサート、東京文化会館主催公演「Only the Sound Remains」日本初演にてバスソロ、東フィル定期ジョン・ミョンフン指揮「マクベス」第一の幻影役など各地で演奏会に出演。宗教曲ではモーツァルト、デュルフレ、ヴェルディ「レクイエム」バスソロにて出演。藤原歌劇団所属。オペラソリスト団体スクアードラ主催。



Keiko Hirano

平野 桂子 合唱指揮

Keiko Hirano

指揮を秋山和慶・増井信貴・川本統脩・Prof. Maksimilijan Cencic(元ウィーン国立歌劇場指揮者)各氏、ドイツ語発音法をWalter Moore氏に師事。若手県久慈市文化会館初公演「ドン・パスクアレ」をNHK交響楽団他と共演。その後渡欧、Prayner Konservatorium Wienにて優秀者演奏会に選抜、飛び級、ディプロムを最高位取得。オーストリア・エーバーガッシング男声合唱団を指揮、シェーンブルン宮殿にてモーツァルト「レクイエム」に合唱指導・サート・モーツァルト「レクイエム」に出演し、ソリスト・合唱指揮の二刀流でも高評を得た。2024年新日本銀行券発行に合わせて制作された「北里柴三郎物語オペラ《ドンネルの夢》」で北里柴三郎役を務め、満場の喝采を浴びた。日本声楽アカデミー、日本演奏連盟会員。聖徳大学兼任講師。